

小学校 外国語活動 部会

部会長	福智町立上野小学校	校長	森 隆子
実践者	福智町立上野小学校	教諭	角谷 朋恵
	福智町立市場小学校	助教諭	東田 尚己

1 研究主題

英語を積極的に用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～外国語活動における、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を通して～

2 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

現在学校に学ぶ子どもたちが、社会で活躍する頃には、多文化、多言語、他民族の人たちと協調したり競争したりするようになり、社会的にも職業的にも外国語を用いてコミュニケーションを図る機会が確実に増える。さらに英語を用いて自らの考えや意見を相手や状況に応じて発信する力も身に付けておくことが必要となってくる。英語をはじめとする外国語で多様な人々とコミュニケーションを図る能力は、生涯にわたって必要となることが予想される。以上のことから、国際共通語である英語によるコミュニケーション能力の向上は不可欠である。

このような中、平成29年3月に告示された新学習指導要領で、小学校英語は教科「外国語」となった。これまでの外国語教育の成果を踏まえながら、小学校・中学校・高等学校が連携し、一貫した外国語教育を推進することができるようにするためである。また、積極的に英語を用いてコミュニケーションをしようとする態度や他者とのよりよい人間関係を作ろうとする態度を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を用いてコミュニケーションを図る言語活動がいっそう重視されるようになった。

以上のことから、本研究がめざす『英語を積極的に用いてコミュニケーションを図ろうとする児童』を育成していくことは、大変意義深いと考える。

(2) 小学校外国語教育の動向から

文部科学省において外国語教育について本格的に導入が検討され始めたのは1990年代に入ってからである。平成10年告示の学習指導要領により、「総合的な学習の時間」に、「国際理解に関する学習の一環としての外国語会話等」を実施することができるようになったが、地域によっても学校によっても内容や方法はさまざまであった。その結果、教育の機会均等の確保や中学校との円滑な接続等の観点から課題が指摘されるようになり、共通の指導内容を設定することの必要性が強く求められるようになった。

平成20年3月告示の学習指導要領により、第5学年・第6学年で週一時間の外国語活動が新設され必修化された。このことにより児童の学習意欲の喚起や、外国語教育に対する積極性の向上といった大きな成果が認められ、中学校における教科として

の外国語学習開始前に、外国語の音声によるコミュニケーションを体験しておくことに大きな意義があると確認された。一方、音声中心で学んだことにより、音声から文字学習への移行が円滑になされていない等の課題がみられた。

以上のことから、平成29年3月告示の小学校新学習指導要領では、中学年に外国語活動（年間35時間程度）、高学年に外国語科（年間70時間程度）が導入されることとなった。中学年の外国語活動で「聞くこと」「話すこと」を中心に外国語に慣れ親しませ、外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年では「読むこと」「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う。このことにより、中学校への円滑な接続を図ることとしている。

3 主題・副主題の意味

(1) 「英語を積極的に用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」とは

外国語活動のさまざまな場面において、それまでの活動の中で体験を通じて慣れ親しんだ英語の知識や技能を積極的に用い、思考力・判断力・表現力を働かせ、自ら進んで相手に話しかけたり、尋ねたりしようとする児童を育てることである。

(2) 「外国語活動における、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」とは

① 外国語教育における「主体的な学び」とは、

ア 外国語を学んだり、外国語を用いてコミュニケーションを行ったりすることに興味・関心をもつこと

イ 外国語によるコミュニケーションを通して社会・世界と関わり、学んだことを生かそうとすること

ウ コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確に設定したり理解したりして見通しをもって粘り強く取り組むこと

エ 自らのコミュニケーションの在り方を振り返り次の学習につなげることである。

② 外国語教育における「対話的な学び」とは、

ア 他者を尊重して情報や考えなどを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすること

イ 聞いたり話したりすることを中心として、書かれたものを読んで社会や世界の様々なことについて知ったり、他者の考え方を学んだり、自分の考えを深めたりすることである。

③ 外国語教育における「深い学び」とは、

ア コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて考えたり表現したりする中で、言語の働きや役割に関する理解や外国語の音声、語彙・表現、文法の知識がさらに深まり、それらの知識を実際のコミュニケーションで運用する技能がより確実なものとなるようにすること

イ 深い理解と確実な技能に支えられて、外国語教育において育まれる「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現する力が活用されるようにすること

である。

これらの「主体的・対話的で深い学び」が実現した授業づくりを行うことで、外国語教育における学習が、児童一人一人の資質・能力の育成や、生涯にわたる学びにつながる意味ある学びになると考える。

4 研究の目標

第5学年の外国語活動において、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりを通して、英語を積極的に用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成をめざす。

5 研究仮説

次のような着眼で、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりを行えば、児童は、英語を積極的に用いてコミュニケーションを図ろうとするようになるであろう。

【着眼1】ゴールの明確化

- HRTとJTEによるスモールトークを見せ、単元の終末にはどのような姿になればよいのかをイメージさせる。その上で、単元全体の振り返りシートを持たせ、「聞くこと」中心の活動から「話すこと」へと段階的に向かう単元構成の見通しを持たせる。

【着眼2】1単位時間の授業のパターン化

- 毎時間の授業をパターン化して黒板に示し、児童が不安を感じることなく授業に臨めるよう工夫する。授業の始めや終わりの挨拶も、児童が自信をもって英語で挨拶できるよう決めておく。

【着眼3】聞く・話す必然性がある場の設定

- 児童にとって「聞く・話す必然性」がある場を意図的につくり、学びに向かう意欲を十分引き出した後、コミュニケーション活動を行う。

6 研究の計画（授業の計画）

(1) 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 (We Can! 1 Unit 1)

(2) 単元目標

- ・好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、発音することができる。(知識及び技能)
- ・自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものを伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力)
- ・他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

(3) 言語材料

○表現

Hello.I'm (Saki).Nice to meet you.My name is (Kosei).How do you spell your name?K-o-s-e-i.

I like/don't like (blue).What (sport) do you like?I like (soccer) very much.I want (a new ball).

○語彙

nice,to,meet,spell,your,very,much,class,everyone,badminton,chocolate,lettuce,name,animal,shoes,
T-shirt,think,ant

(4) 関連する学習指導要領における領域別目標

(1) 聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
(2) 読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
(3) 話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

(5) 単元指導計画 (6時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】、○)	◎評価 (方法)
1	<p>◆好きなものを聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>○ Small Talk : 自己紹介 ・指導者の話に反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>○歌「Hello Song」 【Let's Listen1】 ・登場人物の自己紹介を聞いて、人物とイラストを線で結ぶ。</p> <p>【Let's Play1】 ・指導者の好きなものを予想した後、好きなものを尋ね、予想があっていたか確かめる。</p> <p>【Let's Play2】 ・ペアになり、好きなものが何か尋ねたり答えたりする。</p>	◎好きなものを聞いたり言ったりしている。(行動観察、振り返りシート)
2	<p>◆何が好きかを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○ Small Talk : 名前のスペル ・指導者の話を聞き、名前のスペルを一緒に読む。</p> <p>○自分の名前の文字を確かめよう ・名札を見ながら、名前のスペルを言う。</p> <p>○ミッシング・ゲーム ・黒板に貼られた大文字カードを覚え、なくなったカ</p>	

	<p>ードの文字をあてる。</p> <p>【Let's Watch and Think1】 ⑥～⑫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴して、分かったことを発表する。 <p>【Let's Listen2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物の名前とイラストを結びつけ、好きなものを記入する。 <p>【Let's Play3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と好きな色、食べ物、テレビ番組について尋ね合う。 	<p>◎好きなものを聞き取っている。(行動観察、記述、振り返りシート)</p> <p>◎何が好きか尋ねたり答えたりしている。(行動観察、記述、振り返りシート)</p>
3	<p>◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○ Small Talk : 好きなスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話に反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Listen3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の欲しいものについての会話文聞いて、聞き取ったことを記入する。 <p>【Let's Watch and Think1】 ①～⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴して、分かったことを発表する。 <p>○カードを集めて、名札をつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達とやりとりをして、名札に必要なカードを集める。 <p>○ Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めたカードをもとにワークシートに名前を書く。 ・ペアになり、How do you spell your name?と尋ね、文字を読む。 	<p>◎欲しいものを聞き取っている。(行動観察、記述、振り返りシート)</p> <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。(行動観察、振り返りシート)</p>
4	<p>◆何が欲しいか尋ね合ったり、活字体で書かれた文字を識別し、発音することができる。</p> <p>○ Small Talk : 誕生日に欲しいもの、持っているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話に反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Watch and Think2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人の会話を聞いて、好きなことや欲しいもの、持っているものについて記入する。 <p>【Let's Play4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と欲しいものを尋ね合う。 	<p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。</p>

	<p>○ Sound and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字クイズに答える。 <p>○自分の名前を清書しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名札を参考にして、名前を書いて発音する。 <p>【STORY TIME】①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>(行動観察、記述、振り返りシート)</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音している。(行動観察、振り返りシート)</p>
5	<p>◆自己紹介を聞いてその内容が分かったり、好きなものや欲しいものを伝え合ったりする。</p> <p>○ Small Talk : 自己紹介のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話に反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自己紹介をし合い、尋ねたり答えたりする。 ・次時に向けて、アドバイスし合う。 <p>○ Sound and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANZ ゲームをする。 <p>【STORY TIME】②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞き、一緒に読む。 	<p>◎自己紹介を聞いて、好きなものや欲しいものが分かっている。(行動観察、振り返りシート)</p> <p>◎好きなものや欲しいものを友達に伝えている。(行動観察、振り返りシート)</p>
6 本 時	<p>◆他者に配慮しながら、自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどから3文以上の簡単な自己紹介をしようとする。</p> <p>○ Small Talk : 自己紹介のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話に反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の練習をする。 ・全員の前で自己紹介をする。 ・友達の発表のいいところを発表する。 <p>○ Sound and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティングゲームをする。 <p>【STORY TIME】③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞き、一緒に読む。 	<p>◎他者に配慮しながら、自己紹介している。(発表観察、振り返りシート)</p>

7 指導の実際

(1) 本時の主眼

表情や発声などを意識しながら、自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどから3つ以上選び、簡単な自己紹介をすることができる。

(2) 準備物 デジタル教材、振り返りシート、自己紹介に必要な資料

(3) 本時の展開 (6/6時間)

時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例	準備物
2分	・挨拶をする。	・体調や日にち、曜日、天気を尋ねる。	曜日、日付 天気カード
3分	○ Small Talk : 自己紹介のまとめ ・教師の自己紹介を聞き、質問に答える。	・自己紹介のイメージを持てるよう、同じ観点で自己紹介をする。	自己紹介に必要な資料
2分	○本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">自己しょうかいをしよう。</div> ・これまで身に付けた英語表現をもとにし、3つ以上の表現を使って自己紹介をすることを知る。	・新しいALTの先生に自分のことを知ってもらおうという目的意識を持たせる。	
25分	【Activity】 ・前時にペアでアドバイスし合ったことを振り返り、自己紹介の内容を決める。 ・テキストやワークシートをもとに自己紹介の練習をする。 ・希望者から順に自己紹介をする。 ・聞く際には、分かったことやよかったことについて考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;">Hello,everyone. My name is ~. I like ~. I want ~. I have ~. Thank you.</div> ・良い例と悪い例を示し、笑顔で、はっきりした声で、ジェスチャーを加えて自己紹介することを促す。 ・練習の際には、机間指導をして助言や賞賛をする。 ◎他者に配慮しながら、自己紹介している。(発表観察、振り返りシート)	自己紹介に必要な資料

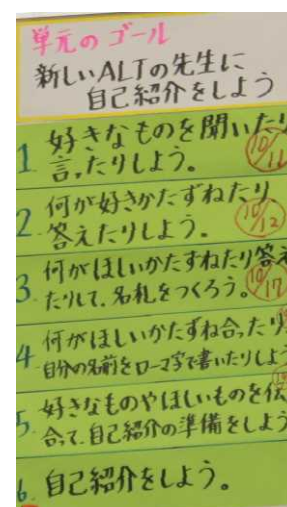
4分	○ Sound and Letters ・ポインティングゲームをする。	・机間指導をして一緒に文字を探す。	
<p><活動の手順> アルファベットの文字の名称を聞き、アルファベット表から探し、指さす。 最初は1文字から行い、2文字、3文字と増やす。</p>			
3分	【STORY TIME】 ・教師の読み聞かせを聞き、一緒に読む。	・ゆっくり、はっきり読む。	
4分	・本時の活動を振り返り、シートに記入をする。	・本時を振り返り、新しいALITの先生に自己紹介をすることを告げ、意欲化を図る。 ・評価の観点に沿って、良かった点について賞賛する。	振り返りシート
2分	・挨拶をする。	・次時の活動を告げる。	

8 研究のまとめ

【着眼1】ゴールの明確化について

- ゴールの明確化としてスモールトークの例示と振り返りシートの活用に取り組んだ。単元の初めに、スモールトークで、JTEが児童役となり初対面のALTに自己紹介をする姿を例示した。例示することにより、ゴールの姿を意識することができた。また、単元全体が見通せる振り返りシートを初めに渡すことで、児童自身が各時の目標と単元の構造を理解することができた。このことにより「聞くこと」から「話すこと」へ段階的に移行することを意識しながら学習を進めることができた。

以上のことから、スモールトークと振り返りシートでゴールを明確にすることは、主体的に学習に向かい、英語を積極的に用いるという児童の姿につながり、有効であったと考える。



【着眼2】1 単位時間の授業のパターン化について

- 1 単位時間の授業の流れのパターン化として、学習活動のパターン化と始めと終わりの挨拶のパターン化に取り組んだ。学習活動のパターンは【写真1】のように黒板に掲示した。さらに、展開中にどの学習活動を行っているのか矢印のカードを動かしたことで、児童は、今、何の活動を行っているのかを明確につかむことができた。また、学習中は英語で指示を出したが、ほとんどの児童は教師が意図していることを聞き取ることができた。理解が難しそうときには、英語での指示の後に日本語で説明することで、意味が分からずにとまどっていた児童も、自信を持って楽しく活動することができた。

授業の始めと終わりの挨拶のパターン化としては、【資料1】【資料2】のように決め、毎時間慣れさせていった。回数を重ねるごとに児童は大きな声で挨拶ができるようになった。さらに、授業開始時にウォーミングアップで、毎時間英語の歌を歌ったり、体調や日にち、曜日、天気を尋ねたりすることを続けたことで、英語でスムーズに答えることができるようになった。

以上のことから、児童は自信をもって主体的に英語活動へ臨むことができるようになった。これは、毎時間の授業をパターン化し視覚的に示したり、挨拶等の簡単な表現に慣れたりすることは、英語を積極的に用いるという上で有効であったことを示している。



【写真1】

〈始めの挨拶〉
Stand up, please!
Let's start English class!
→ Let's start!
Hello, everyone!
→ Hello! Ms.○○ sensei.
How are you?
→ I'm ○○, thank you.
And you ?
I'm ○○, thank you.
Sit down, please.

【資料1】

〈終わりの挨拶〉
That's all for today.
Stand up, please!
Thank you, everyone!
→ Thank you, Ms.○○ sensei.
Let's finish English class!
→ Let's finish!
Good bye, everyone!
→ Good bye!
Sit down, please.
See you !
→ See you !

【資料2】

【着眼3】聞く・話す必然性がある場の設定について

- 話す必然性がある場の設定として、新しい ALT に自分のことを知ってもらうために自己紹介をするという目標をもたせた。自己紹介をする上では、児童が主体的・対話的に活動できるように、既習事項である① My name is ～. ② I like ～. ③ I want ～. ④ I have ～. の構文を用いることとした。テキストを活用しながら、段階的に第一時では好きなもの、第三時では欲しいもの、第四時では持っているものを英語で表現できるようにしていった。そして、自己紹介を作る時間には、学習の中から自分のことを知ってもらうために必要だと思うことを選んで表現するようにした。聞く必然性としては、友達の自己紹介を聞いて、発表のいいところを見つける場を設定した。よりよい自己紹介に

するために、お互いに「Clear Voice」「Nice Smile」「Eye Contact」「Reaction」を意識して話したり聞いたりすることができた。しかし、自己紹介の練習を全体で行ったため、聞くことに対する意識が薄かった児童もいたことが課題としてあげられる。ペアやグループによる活動を取り入れる必要があると感じた。

以上のことから、児童が主体的・対話的で深く学ぶためには、聞く・話す必然性がある場を設定することは有効であるが、形態の工夫が必要であったと考える。

9 成果と今後の課題

【成果】

- 振り返りシートを活用しながら、児童が主体的・対話的で深い学びを意識し、段階的にゴールへ向かうよう授業改善ができた。
- 1単位時間の授業をパターン化することにより、英語を積極的に用いてコミュニケーションをとることができた。

【課題】

- 聞く・話す活動がさらに必然となるような形態の工夫。

◎ 参考文献

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 「小学校学習指導要領」(H29) | 文部科学省 |
| 「小学校学習指導要領解説 外国語活動編」(H29) | 文部科学省 |
| 「小学校学習指導要領解説 外国語編」(H29) | 文部科学省 |
| 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック・基本編」 | 文部科学省 |
| 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック・理論編」 | 文部科学省 |
| 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック・研修指導者編」 | 文部科学省 |
| 「初等教育資料 2016・9月号」 | 文部科学省 |
| 「初等教育資料 2017・11月号」 | 文部科学省 |
| 「小学校英語教科科への対応と実践プラン」 | 吉田研作 教育開発研究所 |